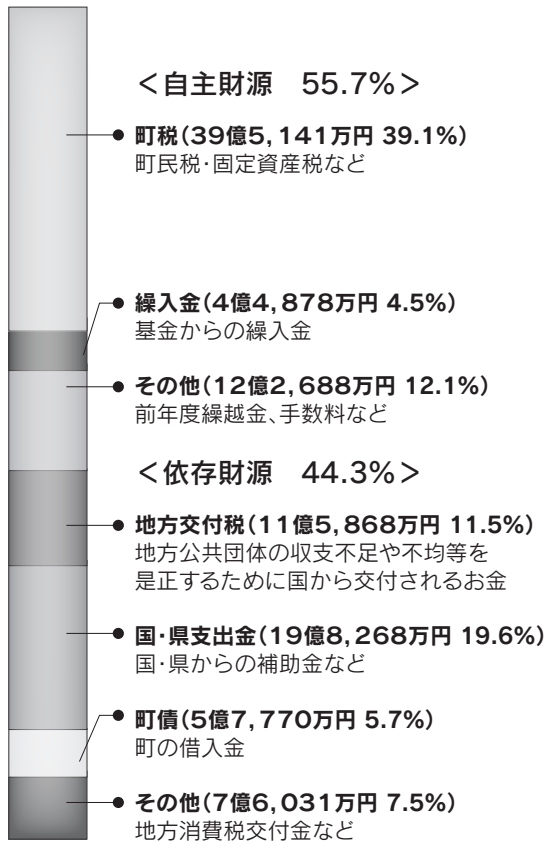
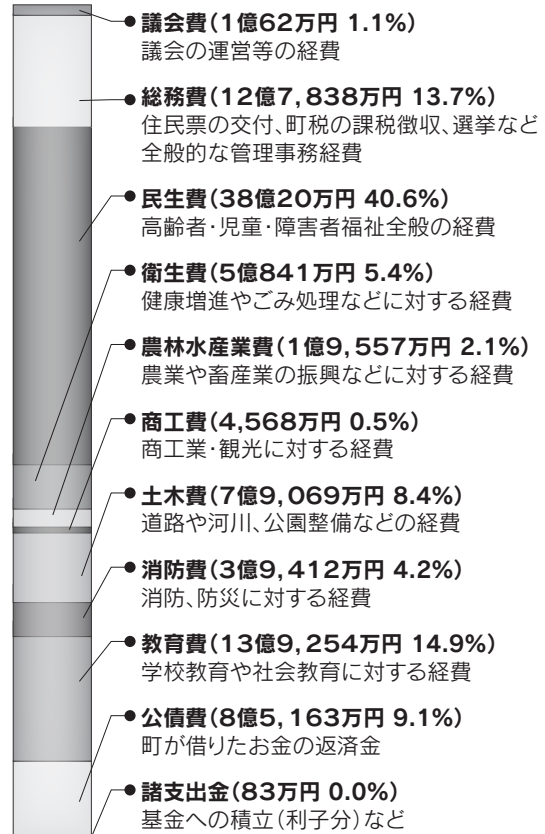


一般会計歳入 101億644万円



一般会計歳出 93億5,867万円



歳入・歳出の概要

歳入決算額は前年度(99億3,073万円)に比べ1.8%の増となりました。個人住民税の増などにより、町税が前年度に比べ1.8%の増となり、民間保育所の整備に対する国からの交付金などにより、国庫支出金が10.1%の増となったことが主な要因です。

歳出決算額は前年度(90億7,761万円)に比べ3.1%の増となりました。民間保育所等整備交付金などによる民生費の増や、見玉工業団地アクセス道路

事業の推進などによる土木費の増が主な要因となっています。

その他の事業として、防災力向上のため地域防災計画の改定、防災機能を備えた都市公園「あおぞらパーク」の整備、七本木小学校や上里東小学校のプールの改修等を行いました。

今後も、安定的な行財政運営のため、徹底した事業選択により施策の重点化や行政のスリム化を図ります。

一般寄附金の状況

平成29年度については、39件11,605,000円の一般寄附金があり、下記のとおり受領しました。

使い道	充当先事業	金額
かみさとブランドの確立	農業振興事業	460,000円
町の魅力を全国へ情報発信	イメージアップ推進事業	40,000円
妊娠と出産の支援	母子衛生事業	130,000円
子育てしやすい環境の整備	地域子ども・子育て支援事業 中央保育園運営事業等	620,000円
未来を担う子どもたちへの教育支援	学力向上推進事業、図書館運営事業	10,225,000円
安心安全で暮らしやすいまちづくり	交通安全対策事業	130,000円

町の基金残高の状況 (平成29年度末)

基金は、家計で言う貯金のことです。今後も決算状況を踏まえ、可能な範囲での積立を行います。

基金の名称	残高
財政調整基金	9億9,654万円
減債基金	8億91万円
公共施設等用地取得及び施設整備基金	9億1,860万円
いきいき福祉基金	5億6,215万円
教育施設整備基金	4億6,824万円
土地開発基金	2億138万円
奨学資金貸付基金	7,519万円

町民1人当りに換算すると

町民1人が負担した金額 **127,124円**
 町民1人に使われた金額 **301,086円**

※平成30年3月31日現在の総人口31,083人で計算

内訳
 議会費 3,237円
 総務費 41,128円
 民生費 122,259円
 衛生費 16,356円
 農林水産業費 6,292円

商工費 1,469円
 土木費 25,438円
 消防費 12,680円
 教育費 44,801円
 公債費 27,399円
 諸支出金 27円

特別会計

特定の事業を行うために、一般会計と区分して経理される会計です。

会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険	41億6,377万円	38億7,670万円
介護保険	17億9,585万円	17億768万円
後期高齢者医療	2億5,100万円	2億4,933万円
農業集落排水事業	1,310万円	1,194万円

企業会計

地方公営企業法に基づき経理され、利用料金などで運営されています。

●水道事業

区 分	収入決算額	支出決算額
収益的収入及び支出	5億7,292万円	4億8,559万円
資本的収入及び支出	5,432万円	3億6,652万円

※資本的収支不足額は、水道事業会計の内部留保資金などで賄っています。

●下水道事業

区 分	収入決算額	支出決算額
収益的収入及び支出	2億4,098万円	2億1,199万円
資本的収入及び支出	1億1,457万円	2億115万円

※資本的収支不足額は、下水道事業会計の内部留保資金などで賄っています。

主な事業と決算額

平成29年に実施した主な事業と決算額を紹介します。

総務費	
交通安全対策事業	2,925万円
長及び議会議員選挙事業	303万円
民生費	
児童手当支給事業	5億1,357万円
こども医療費支給事業	1億1,163万円
民間保育所整備事業	2億3,272万円
衛生費	
児玉郡市広域市町村圏組合清掃施設運営事業	1億8,785万円
予防対策事業	1億1,538万円
農林水産費	
土地改良推進事業	6,759万円
農業振興事業	1,426万円
土木費	
公園管理事業	6,218万円
児玉工業団地アクセス道路事業	1億849万円
消防費	
児玉郡市広域市町村圏組合消防事業	3億5,586万円
災害対策事業	1,398万円
教育費	
上里中学校外構整備事業	1億56万円
本庄上里学校給食組合運営事業	2億422万円

健全化判断比率・資金不足比率

自治体の財政破たんを未然に防ぐための、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」(財政健全化法)に基づき、財政指標を公表します。各指標とも昨年同様に、すべての基準で下回っており、財政の健全が保たれていることを示しています。

■健全化判断比率

(単位:%)

指 標 名	上里町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	赤字なし	14.44	20.0
連結実質赤字比率	赤字なし	19.44	30.0
実質公債費比率	6.8	25.0	35.0
将来負担比率	7.6	350.0	-

■公営企業における資金不足比率 (単位:%)

会 計 名	上里町	早期健全化基準
上里町水道事業	資金不足なし	20.00
公共下水道事業	資金不足なし	20.00
農業集落排水事業	資金不足なし	20.00

【用語解説】

実質赤字比率	標準財政規模に対する一般会計等の赤字の割合
連結実質赤字比率	標準財政規模に対する町の全会計の赤字の割合
実質公債費比率	標準財政規模に対する一般会計等の借入金返済額の割合
将来負担比率	標準財政規模に対する一般会計等が将来負担すべき負債の割合

※標準財政規模とは、地方税や普通交付税など通常経常的に収入される一般財源で、平成29年度は60億943万6千円です。